自分だけの灯り

スマホライトブース

所要時間：40分

スマホライトブースはこんなときに役立つ

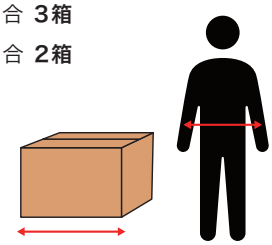
避難所の消灯時間は決して遅くありません。消灯後も、光を使用して手元を見たい、本を読んだりお勉強したりしたいと思った時は、自分用のブースを作ってみてください。スマホのライトで、周りに光をもらさず手元を照らします。

必要な材料・工具

段ボール（同じサイズのもの）

- **床の上で**使用する場合 **3箱**
- **机の上で**使用する場合 **2箱**

自分の体の幅より
大きい箱を
使用してください



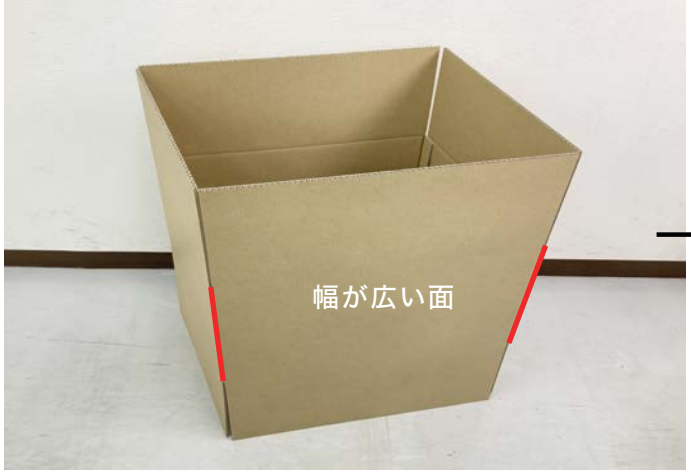
＋

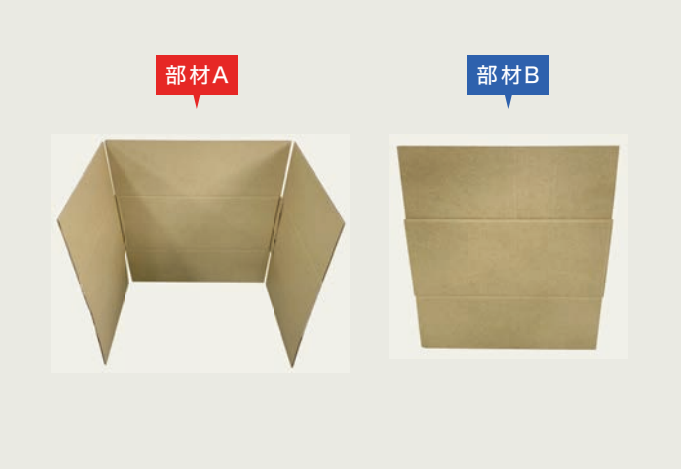
- ボールペンなど書けるもの
- カッター
- 粘着テープ
- 毛布

作り方

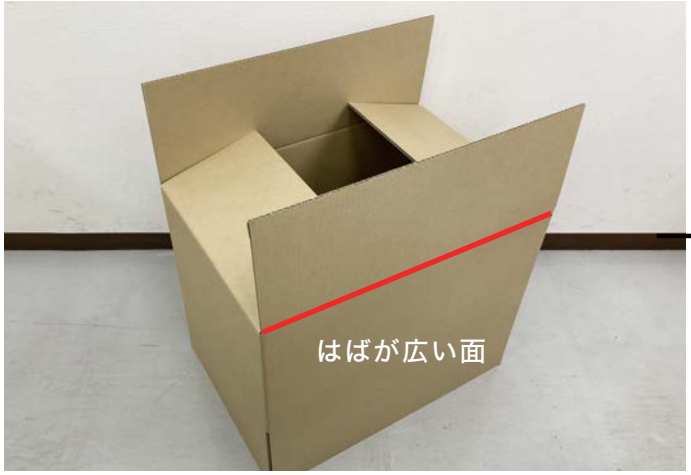
カッターやはさみを使う時は、手を切らないように気をつけましょう

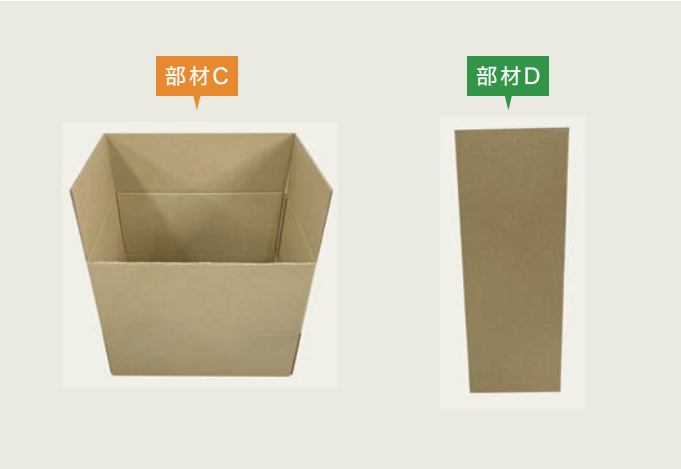
1 段ボール1枚を赤線の位置でカットし、部材A・Bに分けます。
床で使用する場合は部材Aを2枚用意します。部材Bは1枚のみ使用します。



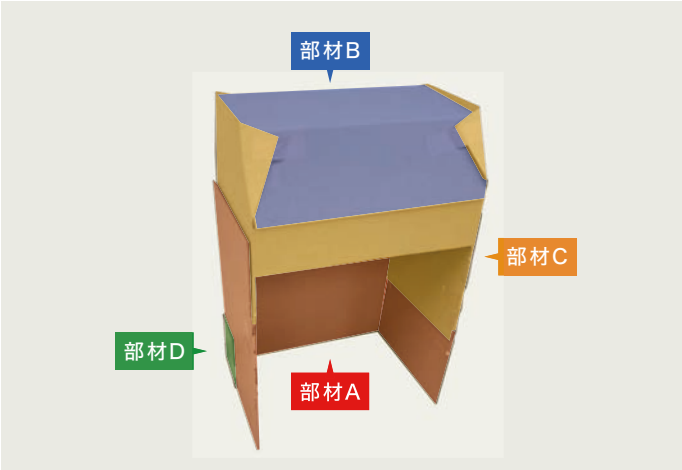


2 もう1枚の段ボールを赤線の位置でカットし、部材C・Dに分けます。
底に粘着テープがついている場合ははがしてください。





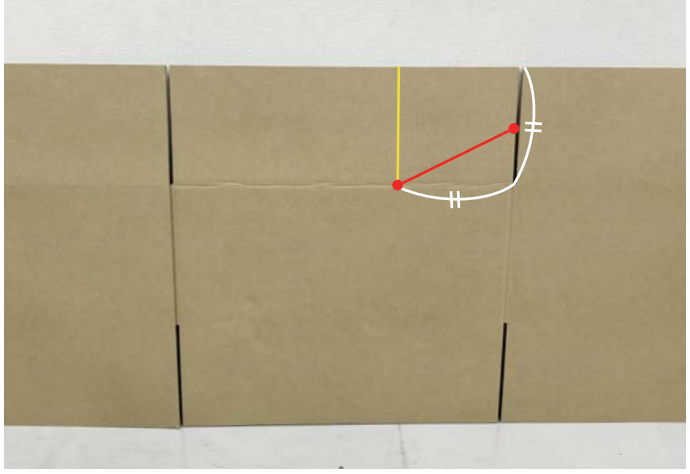
＼ 各部材は最終的にこのように使用します。 ／



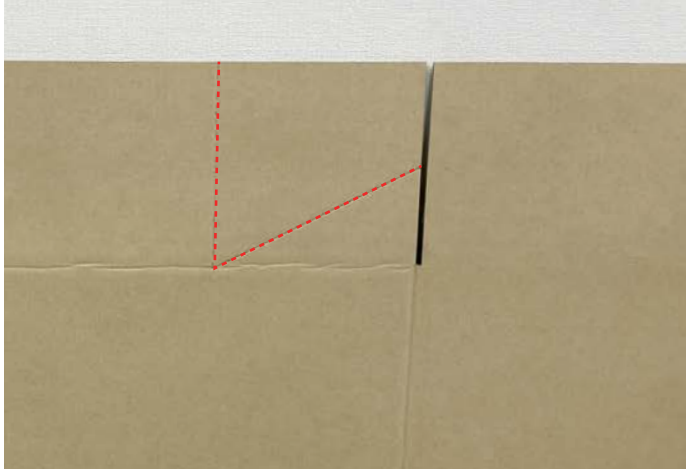
3 部材Aを広げて段ボールの表面を手前側にし、
フラップの高さの中心に印をつけます。

段ボールの「フタ」と「底」の切り込みが入った部分のことを「フラップ」といいます。

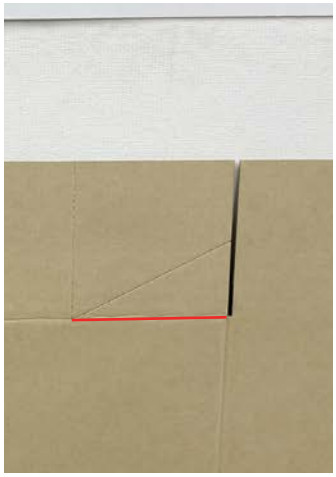
4 フラップの高さとだいたい同じ長さの位置に
印をつけて、印どうしを線で結びます。
また、つけた印から垂直に線を引きます。



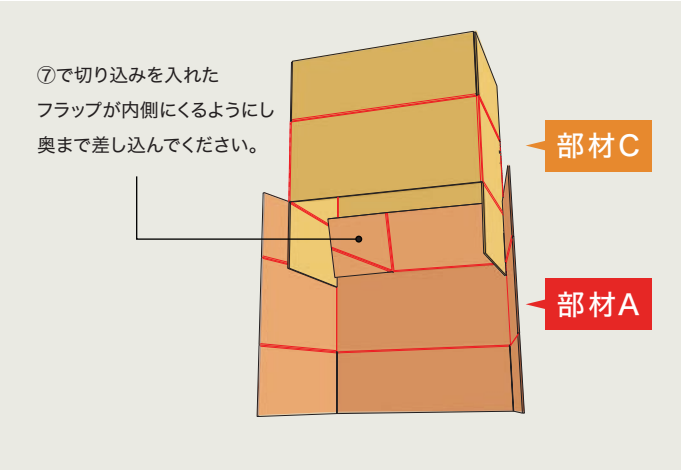
5 ④で引いた線を刃を出していないカッターで
なぞって折り目を付けます。



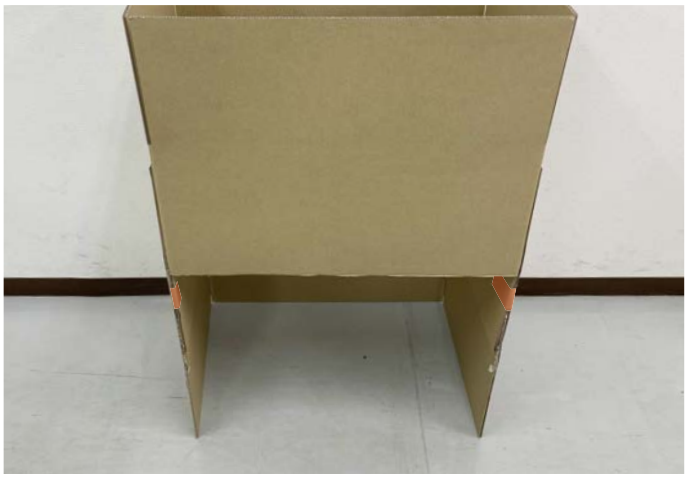
6 赤線の位置をカッターで切ります。



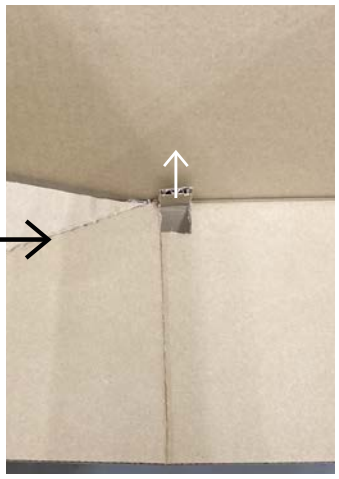
7 部材Aの上に部材Cのフラップが交互になる
ように差し込みます。床で使用する場合は
部材Aの下にもう一枚の部材Aを差し込みます。



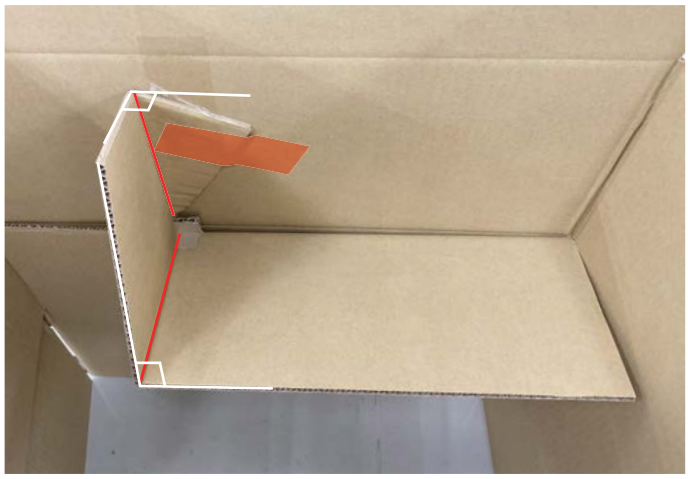
8 粘着テープで写真の位置
計2か所を留めます。



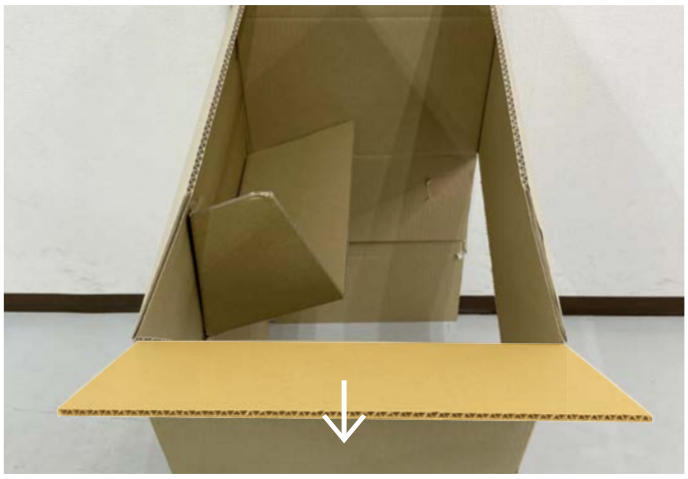
9 内側にある部材Aのフラップに赤線の位置で
切り込みを入れ、立ち上げます。
スマートフォンのライト用の穴になります。



10 ⑤で折り曲げ線を入れた2か所を
90度起こし、粘着テープで固定します。



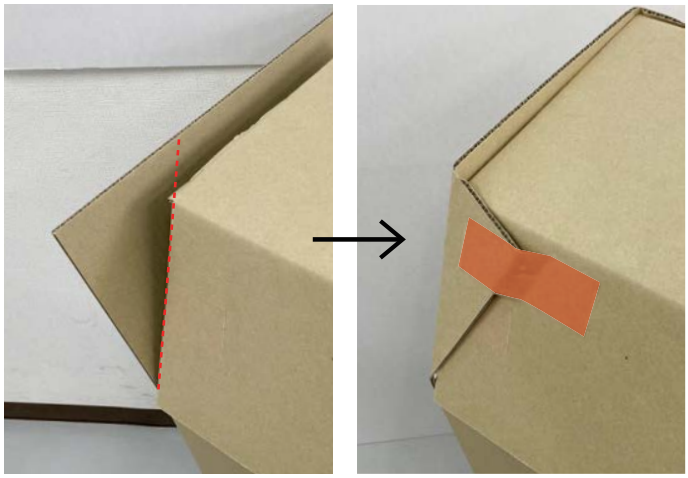
11 部材Cの幅の短いフラップの片方を少し外側に
折り曲げます。(通常とは逆に折り曲げます。)



12 部材Cの上に部材Bを乗せて、
フラップどうしをテープで固定します。

13 反対側もテープで固定します。
計4か所固定されました。

14 飛び出ている角を部材Bに合わせて折り曲げ、
粘着テープで固定します。

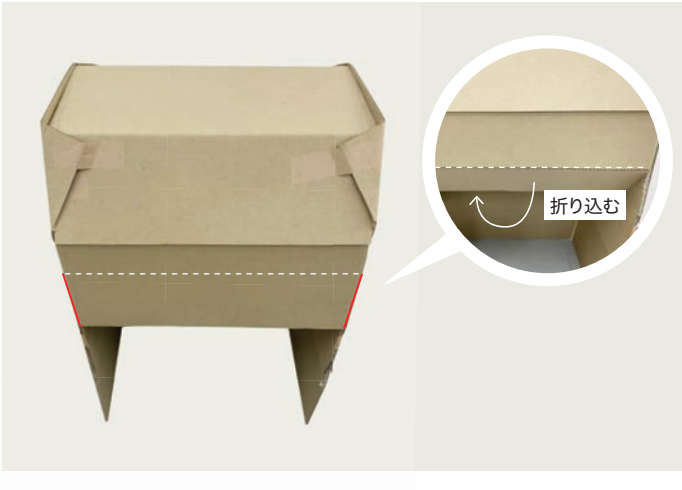


ポイント 刃を出していないカッターでなぞって
折り目を付けると曲げやすいです。

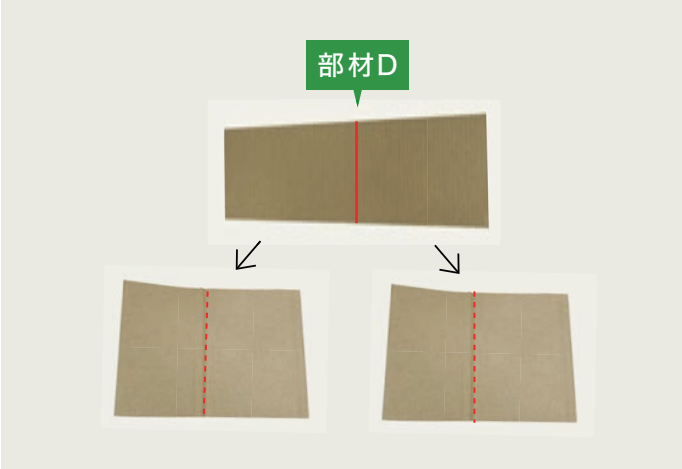
15 表裏合わせて全4か所の角を⑭と同じように
折り曲げて固定します。

16 座高に合わせて形を調整します。
実際に使う机の上や、床の上に置いてみて
座高の位置で高さを決め印を付けます。

17 ⑯でつけた印から下部分（赤線部）に切り込み
を入れ、印（点線部）に沿って段ボールの表面を軽く
カッターで切れ目を入れ、内側に折り込みます。



18 部材Dを半分に切り分け、
それぞれを半分に折り曲げます。



19 ⑱を部材Aの角に当てて、
粘着テープで固定します。
光もれを防ぐためと補強のためです。

完成

使い方は次のページへ

使い方

ライトをつけて、スマートフォンを設置します

【机の上で使う場合】

別マニュアル「あし付きテーブル」の
上に置いてみました

【床の上で使う場合】

※部材Aを2枚使用（手順⑧）

毛布を被せて使用することで
より光をシャットアウト
することができます

毛布は段ボールのすき間に
引っかけられます